



〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862
TEL:099 - 294 - 2311
FAX:099 - 294 - 2309
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (フリーダイヤル)
099-294-2200 (直通)
0570-0-78310 (全国統一ダイヤル)

大原台

より身近な 教育センターへ



日々、緑の濃さを増して憩いの木陰をつくるケヤキの木



春の訪れを温かく彩った満開のソメイヨシノと教育センター（大原台講堂（手前）と天体ドーム）

これは、教育センター大原台講堂南側に鎮座している「教學一如の碑」に刻んである文言です。濱里忠宜先生は、昨年十一月に御逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「教えることは学ぶことである。
学ぶことは深く生きようと願うことである。
その願いを込め、子供らに幸あれと、
ここに、教學一如の碑を建立する」
平成三年春 講堂落成記念
所長 濱里忠宜



二月に、長期研修者十一人によるセンターでの一年間の研究成果の発表会があった。昼食の際、私は食堂で同席したある男性教師と会話が弾んだ。教師が言った。「私はある小学校の複式学級で担任をしています。教頭先生が、『私が代わりに授業をするから、教育センターの発表を一日見て勉強しなさい。』と言われました。教頭先生のお陰で、今日来ることができました。教頭先生の恩に報いるためにも、午後からの発表もしっかりと聞いて勉強して帰ります。」
教頭先生の配慮に答えようと真剣に学ぶ若い教師、若い教師を育てるために全面的に支援する教頭先生。私は二人の思いに気持ちを寄せ至福の時を過ごすとともに、学び続ける教師のすばらしさを実感した。そして、学校や教職員の期待にしっかりと応えることのできる教育センターでありたいと強く心に誓った。
教育センターは、今後とも「教學一如」の精神で所員一丸となり、「より身近な教育センターへ」をスローガンに、教職員一人一人の教育課題解決に向け、更に積極的な支援を行っていききたい。



「教學一如」の精神で
いちはし
所長 野中久光

平成26年度 主な事業の御案内

カリキュラムセンター

相談する

調べる

講座で
学ぶ

調 査 研 究

相談する

お気軽に、担当課へ御連絡
ください。

研究支援事業関連

○研修会等への所員派遣

- 校内研修会や授業研究会での指導助言
- 各種研修会、研究公開等での指導助言
- 授業研究サポート
(ワークショップ型の授業検討会等への支援)
- その他(各種委員会、発表会、実技講習会等での指導助言)

○来所研究への支援

- 来所者への研究・研修に関する指導助言

○文書・電話等による支援

- 文書や電話による質問や問合せ等に対する支援
- Webサイト質問コーナーへの質問や問合せ等に対する支援

TEL : 099-294-2312 (企画課直通)

教育相談事業関連

○教育相談

- 子ども・教職員・保護者等を対象とした子どもに関する教育相談

※ 主な相談内容

- いじめ、不登校、交友関係 など
- ※ 来所相談 (年末年始・祝日を除く。要予約。)
月曜日～金曜日 8:30～17:00

TEL : 099-294-2200

特別支援教育事業関連

○教育相談

- 教職員・保護者・子ども等の教育相談
- 就学指導等に関する支援

※ 主な相談内容

- 自閉症、知的障害、発達障害 など
- ※ 来所相談 (年末年始・祝日を除く。要予約。)
月曜日～金曜日 8:30～17:00
- ※ 電話相談 (年末年始・祝日を除く。)
月曜日～金曜日 8:30～17:00

TEL : 099-294-2820 (特別支援教育研修課直通)

調べる

Webページには、最新の情報
が満載です。

教育情報提供事業関連

○広報・広聴

- 広報
 - ・所報「大原台」
 - ・センターだより「教學一如」
 - ・Webサイトによる広報など
- 広聴
 - ・教育事務所等からの意見聴取
 - ・研修講座に関するアンケート など

情報教育事業関連

○情報教育研修システムの管理運用及び活用促進

- 総合教育センターWebサイトを含む「教育ネットかごしま」の管理運用
- Webサイトの活用促進
- テレビ会議システムを含むICTの活用促進

調査研究事業関連

○研究提携校との共同研究

- 鹿児島市立吉田南中学校
研究公開: 10月17日(金)
- 奄美市立宇宿小学校
研究公開: 10月31日(金)
- 県立松陽高等学校
研究公開: 11月5日(水)
- 鹿児島市立山下小学校
研究公開: 11月14日(金)
- 県立出水養護学校
研究公開は平成27年度に実施予定

○大学との連携

○研究協力員との協力

○調査研究発表会 平成27年1月30日(金)



○研究紀要の発行(3月)

研究紀要

第118号

「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」

Webページにも掲載しています

○指導資料の発行 (37本)(4月、10月)

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ (通巻1794号)

指導資料 国語 第130号
鹿児島県総合教育センター 平成26年4月発行

鹿児島県学習定着度調査を生かした指導法改善
— 思考力・判断力・表現力の育成を目指して —

これまで「基礎・基本」定着度調査では、「基礎・基本」定着度調査結果(概要)で、課題となる能力を、次のように具体的に示している。

【平成25年度】 読・書(読)の深い読み(中・高) 語・文(文)の深い読み(中・高) 語・文(文)の深い読み(中・高) 語・文(文)の深い読み(中・高)

詳細は右ページを御覧ください

講座で学ぶ

詳細は各学校等に配布している「事業案内」, 「短期研修講座の案内」, 又はWebページを御覧ください。

教職員研修事業関連

悉皆研修

○経験年次別研修

- フレッシュ研修
- ステップアップ研修
- パワーアップ研修
- 人権教育教職員等研修 等



○職務別研修

- 新任校長研修会
- 新任教頭研修会
- 人権教育管理職研修会
- 特別支援学級等新任担当教員研修会 等



希望研修

専門研修

○短期研修講座

- 全133講座を実施します。(移動講座は65講座)
- 前・後期に分けて募集します。

○生徒指導力向上プログラム

課題別実践力向上プログラム	不登校対策推進講座	6月17日(火)・18日(水)
	いじめ問題対策セミナー	8月11日(月)
	いじめ対策推進講座	10月7日(火)・8日(水)
生徒指導実践力向上プログラム	問題行動対策推進講座	10月22日(水)・23日(木)
	生徒指導総合講座	8月26日(火)・27日(水)
	生徒指導総合講座(大島会場)	8月19日(火)・20日(水)
生徒指導体制充実プログラム	生徒指導管理職講座	6月24日(火)・25日(水)
	生徒指導主任講座	7月8日(火)・9日(水)

○中学校免許外教科担任教員等研修会

5月22日(木)・23日(金): 教育センター, 体育センター実施分
6月3日(火)・4日(水): 大島地区内の技術・家庭(技術分野)のみ

○継続研修

(高等学校情報教育継続研修)

情報社会に対応した情報教育を推進するために, 継続的に専門的研修を実施します。

【短期研修講座(後期分)申込期間】
5月30日(金)から受付を開始します

市町村立学校(園)は6月23日(月)まで
県・私立学校(園)は6月30日(月)まで

たくさんの申込みを
お待ちしております

○土曜講座

土曜日における研修を希望する教職員のニーズに応えるための希望研修講座を実施します。

第Ⅰ期: 4月~7月
第Ⅱ期: 9月~12月
第Ⅲ期: 1月~3月

Webページ又はFAX, 郵送で申込みができます。
(講座内容はWebページに掲載)

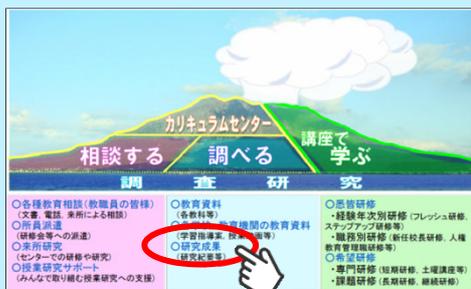
課題研修

○長期研修

教育実践上の課題を踏まえた研修を実施し, 教員としての資質を高め, 本県教育の充実・発展に寄与する人材の育成を図ります。

平成26年度指導資料(4月発行分: 19本)一覧

Webページにも掲載されています。ぜひ, 御活用ください



総合教育センターWebサイトトップページ

Webサイトトップページから「研究成果」をクリック。



Webサイトカリキュラムセンターのページ

「総合教育センター発行『指導資料』」をクリックすると, 最新の指導資料から平成13年度発行分の指導資料まで掲載されています。

通巻番号	教科等 (教科等番号)	標 題	枝 種
第1794号	国 語 (第129号)	鹿児島学習定着度調査を生かした指導法改善 ー思考力・判断力・表現力の育成を目指してー	中・特支
第1795号	国 語 (第130号)	「現代文B」における学習内容の関連を踏まえて読む能力を育成する工夫 ー論理的な文章を教材としてー	高・特支
第1796号	社 会 (第124号)	中学校社会科における生徒の思考過程を踏まえた板書計画とノート指導の在り方	中・特支
第1797号	地歴・公民 (第12号)	資料活用と作業的・体験的な学習の指導の工夫 ー新聞の活用, 文化遺産の調査・見学を中心にー	高・特支
第1798号	数 学 (第137号)	「資料の活用」に関する学習指導法の工夫 ー鹿児島学習定着度調査等を踏まえてー	中・特支
第1799号	理科(生物) (第295号)	ウシエビの観察と解剖に取り組ませるための指導のポイント	中・高・特支
第1800号	理科(化学) (第296号)	水溶液の電気分解におけるイオンの観察の工夫	高・特支
第1801号	生 活 (第15号)	気付きの質を高める「伝え合い交流する活動」の工夫	小・特支
第1802号	音 楽 (第45号)	小学校低学年における音楽学習指導 ー主に幼稚園教育との関連を考慮してー	幼・小・特支
第1803号	音 楽 (第46号)	主体的に鑑賞する能力を高める指導の工夫	中・高・特支
第1804号	技術・家庭科 (家庭), 家庭 (第39号)	食育の推進における言語活動の充実 ージグソー学習を取り入れた実践を通してー	中・高・特支
第1805号	技術・家庭科 (技術) (第42号)	「D 情報に関する技術」における「プログラムによる計測・制御」に関する指導の工夫	中・特支
第1806号	保健体育 (第40号)	セルフエスティームを育むライフスキル教育の授業実践	小・中・高・特支
第1807号	外国語(英語) (第75号)	鹿児島学習定着度調査を生かした「思考・表現」に関する指導法改善 ー「外国語理解の能力」, 「外国語表現の能力」に関する視点からー	中・特支
第1808号	情報教育 (第130号)	電子黒板の日常的活用に向けて	小・中・高・特支
第1809号	情報教育 (第131号)	高等学校における情報モラルの指導の充実に向けて ー学校全体で取り組む指導の在り方ー	高・特支
第1810号	特別支援教育 (第174号)	発語の少ない幼児児童生徒への拡大代替コミュニケーションの指導	幼・小・中・特支
第1811号	特別支援教育 (第175号)	高等学校における発達障害等のある生徒に対する進路指導の在り方 ー就職指導を中心にー	中・高・特支
第1812号	生徒指導 (第65号)	スクールソーシャルワーカーとの連携の在り方	小・中・高・特支

長期研修が始まりました

これからの本県教育の充実・発展に寄与する先生方の、1年間にわたる研修がスタートしました。



長期研修開始式（4月2日(水)）

教員としての「初心」に立ち返り、これまでの教育現場での経験を生かしながらか教員としての資質向上に努め、最終的にはその成果を子どもたちや職場に還元したいと思い本研修を希望しました。教育現場を離れることは寂しいですが、自己の課題に真摯に向き合い、積極的に研修に取り組んでいきます。（研修者代表挨拶から抜粋）



研究主題設定の理由や研究のねらい、研究の仮説などについて発表する「研究計画発表会」も終わりました。

検証授業の具体的な内容や方法、研究の方向性などについて様々な視点から助言をいただきました。
1年間の成果を学校・地域・県全体、そして何より子どもたちに還元したいと思います。（研究計画発表を終えた研修者の感想から抜粋）

研究計画発表会（4月25日(金)）

所 属	教科等	氏 名
鹿児島市立八幡小学校	理 科	小 谷 智 美
鹿児島市立草牟田小学校	体 育	五 代 孝 輔
南九州市立大丸小学校	へき地・複式教育	松 下 静 雄
薩摩川内市立隈之城小学校	生徒指導	横 山 秀 仁
伊佐市立牛尾小学校	体 育	宇 都 孝 幸
始良市立帖佐小学校	道 徳	四 元 大 輔
曾於市立岩南小学校	国 語	久 保 昌 意
霧島市立舞鶴中学校	数 学	針 原 謙 一
県立鹿児島南高等学校	理 科	岡 野 智 和
県立加治木工業高等学校	工 業	北 吉 美 大
県立鹿児島養護学校	特別支援教育	中 園 貴 博

コース名	所 属	氏 名
情報システム	武岡台高等学校	東島 正法
	鹿児島工業高等学校	伊東 雅也
	鹿児島水産高等学校	鮫島 正
	川内商工高等学校	西山 直寿
	加治木工業高等学校	那須 健史
情報コンテンツ	大口高等学校	山口 貴正
	串良商業高等学校	米倉 智幸
	出水商業高等学校	西園 雄麻
	国分中央高等学校	黒葛川 健人

継続研修が始まりました

情報教育を推進する高等学校教員を対象とした、年間20回にわたる研修がスタートしました。（高等学校情報教育継続研修）

この研修で情報教育を推進していく力を身に付けたいと思います。自分がまず正しい知識を身に付け、生徒にしっかりと還元したいです。（研修者代表挨拶及び感想から抜粋）



開講式（5月9日(金)）

玄関ロビーの閲覧コーナーを御利用ください 1階：閲覧コーナー、2階：閲覧室

管理棟 1階 玄関ロビー (閲覧コーナー)

リラックスしながら指導資料等を閲覧、収集できるコーナーとしてリニューアルしました。



正面玄関から入って左側の「閲覧コーナー」には「指導資料」や各種案内を取り揃えております。
各研修会等で来所された際は、ぜひ御利用ください。

管理棟 2階 閲覧室

平成26年度における教科書展示会について

- 期間
平成26年6月13日(金)から6月26日(木)まで(14日間)
- 場所
県中央教科書センター(当教育センター：閲覧室)



ゆっくりと閲覧できるスペース

<閲覧室利用時間>

- ・月曜日から金曜日(週休日, 休日, 年末年始を除く)
- ・午前8時30分から午後5時まで(土曜講座開催日は講座開催の時間帯に限り利用できます。)

<図書貸出>

- ・同時に3冊まで利用できます(一部, 貸し出しできない教育資料もあります)。
- ・貸出期間は原則として14日以内です。
- ・郵送, 使送, 宅配便でも返却できます。